

# 「交通遺児等育成資金」等ご案内

社務所  
福事

## 交通遺児等育成資金

### ◆貸付対象者

自動車事故によって死亡された人の子ども、または重度の後遺障害者になられた人の子ども（0歳から中学卒業まで）を扶養している保護者

### ◆貸付金額

一時金 151,000円  
毎月 19,000円  
入学支度金 43,000円

### ◆利子 無利子

### ◆返還期間

児童福祉係 ☎231157

中学校卒業後一年据え置き、20年以内の均等返還、ただし高校・大学へ進学した場合は、在学中返還が猶予されます。

### 重度後遺障害者への介護料支給

#### ◆支給対象者

自動車事故による重度後遺障害者で常時介護を必要とする者

#### ◆介護料

入院日額 4,000円  
自宅日額 2,000円

#### ◆問い合わせ

児童福祉係 ☎231157

## 公共下水道一部地区供用開始

下水道課

平成7年度で進めていた、公共下水道管理設工事が完了しましたので、次の地区は、1月1日から下水道が利用できる供用

開始区域になりました。

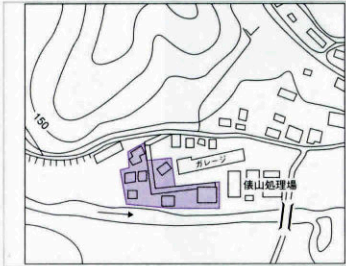
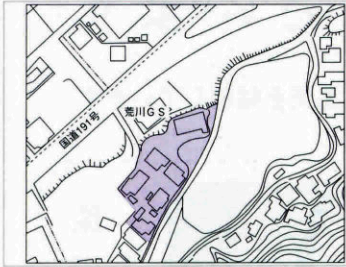
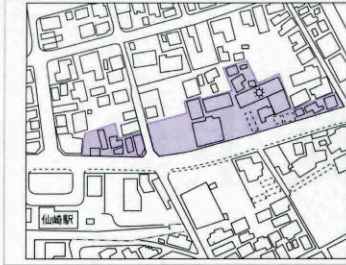
#### ◆問い合わせ

管理係 ☎231190

(祇園町区の一部)

(緑ヶ丘区の一部)

(湯町区の一部)



## 人口は25、118人

### 前回より992人減

### 世帯数は8、670世帯で増加

国勢調査

平成7年10月1日を調査期日に実施された国勢調査の集計概要は次のとおりです。

■人口は25、118人で前回より992人、率で3.8%減少しました。減少幅は平成2年に比べ減ったものの、3回連続の減少となりました。

■世帯数は8、670世帯で前回より291世帯、率で3.5%増えました。1世帯当たりでは2.9人と平成2年の3.12人より減少し、世帯の細分化が進んでいます。

■地区別人口では通・仙崎・俵山地区とも、昭和30年をピークに毎回減少し、ピーク時に比べ通地区は1,770人、率で43.5%、仙崎地区は4,099人、率で40.3%、俵山地区は1,868人、率で51.2%それぞれ減少しました。深川地区は逆に増加傾向が続き、今回も前回より増えました。

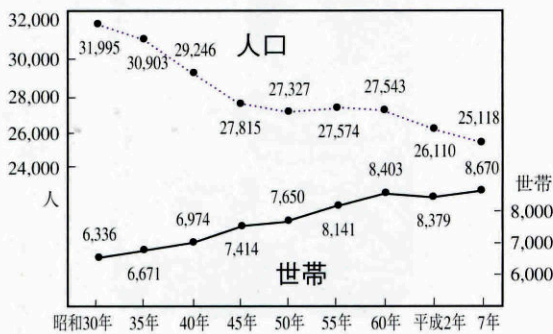
■地区別世帯数では深川地区は前回より379世帯、率で7.6%増えました。その他の地区は人口同様減少しました。前回調査と同様、周辺部から

中心部へと人口や世帯が移っていく、一極集中型の傾向が読みとれます。

■男女別人口では前回に比べ男は525人、率で4.3%、女は467人、率で3.3%減少し、男の減少が女の減少を上回っています。

■人口減少の理由については、自然減少（死亡数が出生数を上回る―昭和63年から）と社会減少（転出が転入を上回る―昭和52年から）によるものと推測されます。

### ■人口・世帯の推移



### ■平成7年国勢調査概数

地区	平成7年				平成2年				増減数		増減率(%)	
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口	世帯数	人口
		A	総数B	男		女	C	総数D				
通	676	2,297	1,075	1,222	688	2,547	1,208	1,339	△12	△250	98.3	90.2
仙崎	2,108	6,078	2,807	3,271	2,166	6,746	3,154	3,592	△58	△668	97.3	90.1
深川	5,353	14,960	6,900	8,060	4,974	14,927	6,879	8,048	379	33	107.6	100.2
俵山	533	1,783	806	977	551	1,890	872	1,018	△18	△107	96.7	94.3
合計	8,670	25,118	11,588	13,530	8,379	26,110	12,113	13,997	291	△992	103.5	96.2

※この数は概数です。後日、総務庁統計局から公表される結果数値とは相違することがあります。

ご協力ありがとうございました